

みなさん、こんにちは。今年の4月から、七飯町の姉妹都市である香川県の三木町で2年間過ごすことになりました。

この「三木町だより」を読んでいただいて、姉妹都市三木町のことを身近に感じてもらえたらいいな、と思っています。

<メタセコイアについて>

みなさん、「メタセコイア」って知っていますか？戦隊ヒーローの名前かな？と思った人もいるかもしれませんね。

メタセコイアとは木の名前で、三木町の記念樹となっています。三木町とメタセコイアには深い関係があります。というのも、三木町出身の三木茂博士が、先に葉の化石の状態で発見し、絶滅したと思われていたのに、その後中国で生きている木の状態で発見されたという、珍しい経緯をたどったものなのです。（「生きた化石」と呼ばれることもあります）

七飯町と三木町は平成11年に姉妹都市提携を結び、その記念に、七飯町からは赤松、三木町からはメタセコイアの苗木がそれぞれ贈られました。みなさんお気づきでしょうか？役場前の広場（郵便局へ下る途中）に三木町から贈られたメタセコイアがすくすくと育っています。みなさん、ぜひ立ち寄って見てみてください。七飯町から贈られた赤松も元気に育っていますよ。（三木町役場正面玄関前）



メタセコイアの樹木



メタセコイアの葉



こちらでは、毎日、テレビニュースでダム※の貯水率を放送します。
（新聞のお天気欄にものります）

水不足が心配される香川県ならではのですね。今日の貯水率は100パーセントです。（7月3日現在）

また、三木町にはたくさんの「ため池」があります。水は、本当に大切です。

※早明浦ダム・・・高知県にあるダムで、ここから香川県に水が送られているそうです。